

SETOUCHI EARTH DAY

2022.5.28.sat & 29.sun at hirao-cho,kumage-gun,yamaguchi-ken,japan

上映映画のご紹介



スギメ

国立科学博物館が企画・製作し、博物館として初めて科学技術映像祭文部科学大臣賞を受賞した「3万年前の航海 徹底再現プロジェクト」のドキュメンタリー映画。星や太陽を頼りに針路を定める古代の航海法で、黒潮を越え、水平線の彼方にある島を目指して台湾～与那国島の225kmを漕ぎ切った記録。当協会の代表である原康司が、漕ぎ手のキャプテンとして携わった。

[上映時間] 87分

[総監修] 海部陽介

[監督・脚本] 門田修

[出演] 海部陽介(前国立科学博物館人類史研究グループ長／東京大学総合研究博物館)、原康司(漕ぎ手)、田中道子(漕ぎ手)、中村くみの(プロジェクト事務局)



縄文号と
パクール号の
航海

探検家・関野吉晴氏が自然から素材を集め鉄器を作り、その鉄器による手作りで舟を作り、エンジンを使わず島影や星を頼りにインドネシアから日本までを航海するという、4年間のプロジェクトに密着取材したドキュメンタリー映画。

[上映時間] 122分

[監督・構成・編集] 水本博之

[プロデューサー] 関野吉晴

[出演] 関野吉晴、渡部純一郎、前田次郎、佐藤洋平、ザイヌディン、グスマン、ジャビル、イルサン、ダニエル、ラティフ、サブル



丸木舟とUFO

AFF
ARTS for the future!

首都圏から石垣島へ移住した後、サバニの舟大工になった吉田友厚さんとその家族、地域の人々の暮らしを描いたドキュメンタリー映画。船大工の吉田さんは令和4年2月から約1ヶ月かけて平生町でサバニを製作。

[上映時間] 85分

[監督・撮影・編集・プロデューサー] 水本博之

[ライプロデューサー] 酒井貴史

[出演] 吉田友厚、吉田朱美、吉田みちる、吉田宇良、宮城茂正、新垣信彦、前田末和、河上真一、比嘉靖弘、新城康弘

トークイベント出演者のご紹介



水本 博之

Hiroyuki Mizumoto

2006年／武蔵野美術大学 映像学科 卒業
2009年／東京藝術大学
大学院美術研究科 修了

グレートジャーニーで知られる探検家・
関野吉晴の道具作りからはじめたカ
ヌーの旅に同行したドキュメンタリー映
画「縄文号とパクール号の航海」(2015年公開)を撮影・監督。以降
現在も国内および東南アジアで急速に変化する伝統社会と文明
の関係について取材を続ける。一方で手づくりにこだわったストッ
プモーション・アニメーション映画も監督・制作し劇場公開している。



吉田 友厚

Tomohiro Yoshida

1974年／東京生まれ
2001年／インドで太鼓制作
2005年／石垣島移住
2011年／白保のサバニ大工
新城康弘氏に師事
2015年／吉田サバニ造船創業
2016年／久宇良サバニツアーリード
2022年／山口県平生町にて19杯目の
サバニを完成させ、現在に至る

吉田サバニ造船・
久宇良サバニツアーリード

[主催] 一般社団法人瀬戸内伝統航海協会 [後援] 平生町、平生町観光協会

お問い合わせ・事前予約

[感じる会場] 090-6843-9854 (原康司)

[学ぶ会場] 080-4713-8688 (宮崎孝志)